

令和 5 年5月29日

令和5年度第1回岡山県健康の森学園支援学校運営協議会記録議事録

進行:上野副校長

記録:杉山

1 校長挨拶

- コロナ感染症により、行事の減少、縮小を余儀なくされたが、徐々に行事等が行える方向へ向かっている。
- 自立・社会参加に向けて、地域と連携した教育活動を行うために、ご協力をよろしくお願いいたします。

2 委員・学校職員紹介

- 要項(P1) 名簿順に自己紹介(守谷雅紀委員 欠席)

3 本校学校運営協議会会長、副会長の承認

- 本部より会長に岡本邦広委員、副会長に吉岡委員、定久校長を推薦の提案 → 委員より承認を得る。

4 会長挨拶

- 意義のある委員会になるよう、ご協力をよろしくお願いいたします。

5 議 事

(1) 学校運営協議会の説明

(上野副校長)

- 学校評議員会との違い。アイデア、助言をいただきながら、地域とともに地域協働活動に取り組んでいくのが、学校運営協議会。(要項 P3~4)

(鈴木総括教務)

- これまでの地域協働活動についての説明

- ・貢献活動
 - 小学部:しおりを作成しアンテナショップで配布、作業活動で管理棟の清掃奉仕
 - 中学部:作業製品の提供 委託作業(飴の袋詰め 300個)
交流及び共同学習(新見一中、哲多中)
 - 高等部:作業活動 哲多総合センター清掃活動
リサイクルペットボトルキャップの納品
石けん班による地域への納品(JA、ほほえみ広場、大成石油)
- ・地域協働活動
 - 放課後子ども教室:お茶、お花、ダンス、調理等の指導
 - 余暇活動:バンドーラサークル(楽器づくり、演奏)

(2) 本校学校経営に係る基本方針の説明(定久校長)

- 本校のミッションの説明。地域のつながりを大切にしながら、ミッションを受けて3つの学校運営目標。
- 重点4つに強みを生かして、5つのプロジェクトに分け、さらに18の具体的な取り組みを行っていく。
- 今年度の学校運営協議会では、特にキャリア発達、連携による指導、情報発信とセンター的機能の視点から協議を行っていきたい。

(3) 校内見学

- 全体写真撮影後、3グループに分かれ、小学部・中学部・高等部を見学した。

(4) 協議及び意見交換

- (定久校長) 地域との新たなつながりを大切に、地域の資源、学校の資源、多様な分野や人材を活用し、学校の教育活動を充実させていきたい。学校からのニーズを紹介。例えば、森の自然を活かしたネイチャートレイルの整備等。
- (岡本委員) 1回目の会なので、アイデアをたくさんいただいて、意見交換ができれば。
- (若林委員) 地域とはどの範囲を示しているか。
- (定久校長) まずは新見、哲多地域を考えている。しかし、本校は全県学区なので、県南へ広げていきたい。
- (宮崎委員) シイタケ栽培を活かした、体験型観光ができないか。シイタケ採り、シイタケ試食等
- (山田施設長) 健康の森学園は、農業を通して地域、社会自立へつながる取り組みをしている。全国大会へ製品を出品し、利用者の励みにしている。学園を知っていただくために、体験型の観光を行うなどの一連の流れが確立することは理想ではあるが、職員の勤務等などの課題もあり、現在は行えていない。
- (中川委員) 「森のおみせ」が拡充できたらよい。生徒の働く姿が見えない。
キャリア教育フェアを通して、地域の方や県内の支援学校に知ってもらう。
- (赤木委員) 環境が整備され教育活動が行われたり、足を運んでくれる環境づくりが行われたりできるとよい。そのために、健森応援団にできることをやっていきたい。フェイスブックで芝桜の定植の情報を見た。情報発信もできたらよい。
- (山本委員) 初めて支援学校に来て、授業を観た。授業の流れ、環境づくり、児童・生徒との関わり方等、勉強になった。指導について、教員間の交流ができたらよいと感じた。生徒間の交流(年2回実施)は、数少ない同世代が一緒にできる活動なので、今後も大切に、つなげていきたい。
- (田中委員) 健康の森はグラウンドゴルフ、オリエンテーリングの中国大会が行える環境がある。地域の方に知っていただき、人に来てもらえる場所にしたい。
高等部が行っている企業内実習は、商工会等の企業団体を通じてアプローチできればよいのではないか。
- (長谷川委員) 社会自立するための学校の取り組む姿が見られよかった。今後も、自立支援協議会との情報共有しながら、教育活動が行えればよい。
- (吉岡委員) 舍での生活、自然とのふれあい、地域のつながりが息子の成長につながっている。居住地校交流等により居住地域では、健康の森学園のことは地域で認知されている。今後、たくさんの方に知ってもらえるとよい。
- (千種委員) ネイチャートレイルは本来の自然を活かし、大切な資源。森林組合に講師をお願いして、手入れができればよい。
- (小川委員) 以前、遊具(もりっこクラブ)などの整備も充実していた。山を再生できる活動ができたらよい。
- (岡本委員) 山本委員からもあったが、教員間の交流の場が持てたらよい。学生ボランティアとして、授業の補助等が行えればよい

6 諸連絡

- (鈴木総括教務) 校内ルール(要項 P9) 年間計画(要項 P13~14)を説明した。
第2回、第3回、岡山県健康の森学園支援学校運営協議会の予定を連絡した。
- (佐藤事務部長) 事務連絡。旅費等の申請を来週中(6/9)までをお願いしたい。

7 閉会挨拶(岡本委員)

皆様ありがとうございました。今後、健康の森学園支援学校の教育活動の充実のためにともに協力していきましょう。